

名古屋JCがつくる広報誌 マズモッテ

# Maz-motte

Vol.1  
2026.01.15

公益社団法人名古屋青年会議所2026年度(第76年度)スローガン

## BE THE HERO —愛を持って未来を守る—

公益社団法人名古屋青年会議所  
第76代 理事長 富永 晃司

発行者／公益社団法人名古屋青年会議所  
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号 名古屋JCI会館  
TEL 052-221-8590

名古屋JCがつくる広報誌  
Maz-motte Vol.1 2026.01.15

JCI Nagoya

# Junior Chamber International NAGOYA 2026

## 賛助・協賛企業の募集について

### ■賛助・協賛について

名古屋青年会議所は、名古屋のまちを想い、設立より今まで活動を続けてまいりました。今後、より一層まちや市民の皆様から求められる運動を展開していくためには、単独の活動ではなく、多くの方々から共感を得て、ともに活動していくことが大切であると考えています。

そこで、当青年会議所では社会課題の解決に向けて、あらゆるパートナーと連携し、新たな価値、すなわち持続可能なブランドや事業を創造していく取り組みを行っています。当青年会議所の運動にご賛同いただける企業・団体・個人の方には賛助として、それぞれの事業・例会にご賛同いただける方には協賛としてご支援いただき、協働して運動を展開しています。

賛助いただける利点として、当青年会議所は、期首539名の青年経済人である会員から形成されており、経営者層の人間も多く在籍しておりますが、その会員に対して、貴社・貴団体の活動内容や特色をアピールする機会を設けさせていただきます。

また、我々は、地域との協働により、明るい豊かな社会を実現するため活動しております。広報誌やWeb活用により、貴社・貴団体を賛助企業としてPRすることで、より一層のイメージアップを図ることができます。

### ■協賛によってなされた事業

昨年度、当青年会議所は、複数の事業・例会を、外部企業・団体等の協賛金に支えられて実施しました。

例えば、新たなスポーツ都市を確立する事業「名古屋をアイスのまちへ～World Junior Ice Hockey NAGOYA cup 2025～」では、外部の協賛を多数いただいたおかげで、日本・台湾・タイからチームをお招きし、アイスホッケーの世界ジュニア大会を開催することができました。

また、人間力大賞を表彰する事業においては、名古屋発のオープンイノベーション拠点STATION Aiiにて最終選考会・表彰式を行い、地域にイノベーションを起こし社会課題を解決する若き挑戦者たちを力強く応援することができました。

### ■賛助・協賛の方法

2026年度(第76年度)では、当青年会議所の目的・理念に賛同し、その活動を援助することによって当青年会議所の発展を助成しようとする企業・団体・個人の方に対し、ご要望に応じた賛助プランをご用意しています。また、各事業・例会に対してご協賛いただく場合には、担当委員会とともにその内容を定めていただくことになります。詳細につきましては、名古屋青年会議所事務局を通して、広報・プランディング委員会までお問い合わせください。

### お問い合わせ先

公益社団法人名古屋青年会議所  
2026年度(第76年度)広報・プランディング委員会  
メールアドレス:76kouhoubranding@gmail.com

### 賛助企業 (2026年1月1日現在)

株式会社八勝館  
株式会社萌葱

### マズモッテ定期送付ご希望の方へ

#### 携帯・スマートフォン・パソコンからお申し込み

①QRコードを読み取ってください。→



②「マズモッテ定期送付依頼フォーム」から  
必要事項をご入力ください。

※QRコードでなく、直接ご入力の際は下記アドレスをご入力ください。  
<https://nagoyajc.or.jp/about/mazmotti/>  
※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い取り扱います。  
※公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。  
※アクセスにはご契約の通信料がかかります。

※QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。

### 名古屋の魅力を発信する情報をゲット！

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中！

公式YouTubeチャンネル 公式Facebook 公式Instagram 公式X (旧Twitter) 公式LINE



公益社団法人名古屋青年会議所  
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号  
TEL 052-221-8590 FAX 052-202-0464

ホームページもご覧ください。  
<http://www.nagoyajc.or.jp>

名古屋青年会議所

検索



携帯からはこちら！



名古屋市長 広沢 一郎

## 新年を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

## 新春を迎えて

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月、ついに、世界トップレベルのグローバル

アーチー「IGアリーナ」がグランドオープンを迎えました。

また、昨年は、「ジブリパーク」が開園から3年

を、「STATION A-i」がグランドオープン

から1周年を迎えたほか、テクノロジーの祭典

「TechGALA Japan 2025」、愛

知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」、3

年に1度の国際芸術祭「あいち2025」を開催するなど、国内外から多くの人が愛知を訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

「ジブリパーク」や「STATION A-i」を

始め、これまで積み上げてきた愛知の力と、

「IGアリーナ」など新たに加わった力を原動力

明けましておめでとうございます。市民の皆様には健やかに新春をお迎えになられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、今年は9月にアジア競技大会が、10月にアジアパラ競技大会が開催されます。両大会は本市がこれまでに経験したことのない規模の国際総合スポーツ大会です。市民の皆様と一緒に大会を盛り上げ、最高の舞台をつくり上げるため、開催に向けた準備を全力で進めてまいります。

4月にはメイン会場である名古屋市瑞穂公園陸上競技場がオープンいたします。大会を通じて生まれるレガシーを様々な分野に活かし、本市で両大会を開催することを、必ず市民の皆様に誇りに思っていたたける

よう、しつかりと取り組んでまいります。

また、今年は豊臣秀吉・秀長兄弟を描く大河ドラマ「豊臣兄弟」が放送されます。この

機会を活かし、兄弟の生誕地である中村区の

中村公園にオープンいたしました「豊臣兄弟！」

名古屋中村大河ドラマ館を中心とする誘客促進の取組みを進め、名古屋の魅力を全国に発信してまいります。

さらに、2月には名古屋駅一帯において、新たな路面公共交通システムS.R.T.の運行を開始いたします。S.R.T.の導入により、沿道が持つまちの価値を高め、新しい都心風景を創出してまいります。

本市には高齢化の進展に伴う福祉・医療体制の強化、子育て支援の充実、産業競争力を進めてまいります。

4月にはメイン会場である名古屋市瑞穂公園陸上競技場がオープンいたします。大会を通じて生まれるレガシーを様々な分野に活かし、本市で両大会を開催することを、必ず市民の皆様に誇りに思っていたたける

令和8年元旦

2026年元旦

愛の力で、未来を動かす  
あなたはまちのヒーローだ

平素は、公益社団法人名古屋青年会議所の活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。謹んで新年のご挨拶申し上げます。

名古屋青年会議所は75年にわたり、このまちのために活動を続けてまいりました。2027年にはJCI世界会議名古屋大会の開催も決定しておりますが、10年、20年先を見据えれば、人口減少に伴う会員数の減少という課題に直面することは避けられません。全国的な人口の減少や関東圏への若年層の集中といった社会構造の変化、そして能登半島地震に見られたような巨大災害への備えは、名古屋にとって喫緊の課題であります。

第76年度は、「愛の力で、未来を動かすあなたはまちのヒーローだ」というテーマ

は、既存の価値観にとらわれることなく、誰のものと、名古屋の未来を創造し、さらなる発展へと導いてまいります。我々の活動の原点に立ち返り、青年経済人としての責務を自覚し、己を尽くして運動を展開してまいります。

## まずは、「人財」です。

名古屋が持続的に成長していくためには、既存の価値観にとらわれることなく、誰もが挑戦し、活躍できる環境を整え、次代を切り開く人財を育てることが必要不可欠です。若者の政治参画は喫緊の課題であり、投票率の低い若年層に対し、自ら課題を掘り下げ、政策として発信する場を提供すること

とで、主権者意識を高めます。「政治は自分たちが動かすもの」という価値観を名古屋に広げ、政治変革を促してまいります。

また、社会課題の解決に挑む傑出した若者を見出す「名古屋人間力大賞」について

は、2026年度はブランディングを重点

的に進めます。挑戦者に共感する企業を巻き込み、地域全体で若者を支え育てる体制へと転換を図ります。

## 次に、「経済と都市創造」です。

少子高齢化の影響が強まるなか、環境や技術の変化を「機会」として捉え、誰もが愛を感じさせになる経済と都市のあり方を描き直します。生成AIやRPAなどの先進技術の活用を促進し、企業の生産性向上と働き手不足への対応を図ります。また、既存企業とスタートアップ企業との連携を強化し、新たな価値創出の土壤を築いてまいります。さらに、すべての人が人生

結びに、市民の皆様、関係諸団体の皆様、会員の退会や資格喪失者が増加する現状を真摯に受け止め、組織の存続に向けた長期的な視点での改革を進めます。名古屋青年会議所の目的や活動意義に共感し、「人のため、まちのために己を尽くす同志」を増やしてまいります。会員拡大を単なる数値目標とせず、100周年を見据えた、会員一人ひとりが「自分の子どもを入会させたい」と心から思えるような、誰にも誇れる団体を目指します。

公益社団法人名古屋青年会議所  
第76代 理事長 富永 晃司

## 次に、「国際」です。

JCI世界会議名古屋大会の成功に向けて、準備を本格化させるとともに、国際都市としての基盤を強化し、国際社会における名古屋のプレゼンス向上に取り組んでまいります。JCIとの信頼関係を一層深め、各国LOMとの交流を促進することとで、JCI世界会議名古屋大会の機運を醸成します。

また、実際に現地に足を運ぶ体験を通じて、若者が世界の広さを体感し、社会の変化に柔軟に対応できるグローバル人財を育成する仕組みを構築します。そして、言語や文化の違いを超えて相互理解を育むスポーツの力を信じ、J.Cカップなどを通じて交流の輪を広げ、世界平和の実現を目指してまいります。

本市機能においては、巨大災害に備え、「公助・自助・共助」に加え、「近所(助)」の力を活かした防災ネットワークを構築し、「皆で備える」文化を名古屋に根づかせます。観光分野では、名古屋の歴史とナイトタイムエコノミーを掛け合わせ、観光導線を再構築し、「選ばれる都市」の魅力を全国へ発信してまいります。

## 最後に、「組織の継続と未来への責任」です。

組織の継続と未来への責任は、会員の退会や資格喪失者が増加する現状を真摯に受け止め、組織の存続に向けた長期的な視点での改革を進めます。名古屋青年会議所の目的や活動意義に共感し、「人のため、まちのために己を尽くす同志」を増やしてまいります。会員拡大を単なる数値目標とせず、100周年を見据えた、会員一人ひとりが「自分の子どもを入会させたい」と心から思えるような、誰にも誇れる団体を目指します。

# 「挑戦と新たな出会いにより さらなる飛躍を」



名古屋商工会議所  
会頭 島尾 正

明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和8年の新春を健やかにお

迎えることとお慶び申し上げます。

昨年11月より会頭としての2期目がス

タートいたしました。3年前の就任時に掲げ

たキヤッチフレーズ「未来の名古屋を拓く力

を支える・繋がる・広がる」を一層深化・

発展させ、具体的な取り組みを重ねながら、

当地のさらなる発展に全力で取り組んでま

いります。

## 中小企業支援で 地域経済を支える

さて、我が国経済は足元では緩やかな回復傾向を維持しており、賃上げ基調を背景とした成長型経済への動きが着実に進んでおります。一方、米国関税措置の影響や日中関係の動向など、依然として数多くの不確実性を抱えています。

とりわけ中小企業では、物価高騰や人手不足、DXへの対応などが深刻な課題となっています。一方、米国関税措置の影響や日中関係の動向など、依然として数多くの不確実性を抱えています。

また、人手不足への対応や賃上げの原資を確保していくためにも、DXの推進やAIの活用による業務効率化や付加価値の創出が不可欠です。昨年度は、先進的に取り組む企業を顕彰する「NAGOYA DX・生産性向上アワード」を実施いたしましたが、本年度は受賞企業の視察会や他地域の先進企業を招いた勉強会など、DX推進に向けた環境整備や実践支援を本格化させております。特に、中小・小規模事業者の皆さんにはPit-NagoyaによるIT導入支援やAI活用の相談も受け付けており、DX推進の取り組みの裾野拡大に注力しています。

さらに、「なごのキャンバス」などを通じたスタートアップ支援や異業種交流の促進により、イノベーション創出に繋がる環境づくりを進めています。次世代産業の育成・振興に注力しているところです。

## 広がる国際交流と 都市機能の強化に向けて

今年は、最大45の国や地域から約1万5,000人が集まるアジア最大のスポーツの祭典「アジア・アジアパラ競技大会」が当地

## 結び

本年の干支である「午」は、力強く駆ける姿から「物事が順調に進み、発展や成功へ導く」と言われています。皆さまには、変化の激しい経営環境の中でも果敢に挑戦を続け、着実に歩みを進めていただきたいと思います。

2026年も、会議所活動への層のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

つながりから新たな価値

やイノベーションを創出

不確実性が増す時代において、企業が持続的

な成長を遂げるためには、新たなビジネスへの挑

戦やイノベーションの創出が不可欠です。異業

種・異分野間の連携はもちろん、行政や研究機

関、スタートアップなど多様なステークホルダーとのつながりはますます重要となります。

このため、「メッセナゴヤ」や「ライアンズ・パー

トナー発掘市」などの展示会・商談会を実施

し、企業同士が直に出会い、協業や販路拡大に

「繋がる場を」層充実させてまいります。

また、産業の分野では、ものづくり産業の集

積地としての強みを活かし、航空機や医療機

器、環境・エネルギーに加え、これから成長が期待される宇宙産業への参入支援にも取り組み、

次世代産業の育成・振興に注力しているところ

です。

古屋港、広域幹線道路の整備促進と機能強化、リニア中央新幹線の建設促進など、関係機関と連携しながら着実に推進し、国際交流都市として機能の強化を図っていきたいと思います。

また、都市の発展・活力向上には交通インフラの整備も極めて重要です。中部国際空港や名

古屋港、広域幹線道路の整備促進と機能強化、リニア中央新幹線の建設促進など、関係機関と連携しながら着実に推進し、国際交流都市として機能の強化を図っていきたいと思います。

また、都市の発展・活力向上には交通イン

# 「真の心が生み出す 幸せな国 日本へ」

日本青年会議所 基本理念



**JCI** Japan

TRUE MIND TRUE HOPE

～幸せな未来へ～

～社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

地域における運動が大きな成果をもたらさ

れますこと、そして皆様にとって2026年

が実り多き一年となりますよう、心より祈念

申し上げます。

その運動構築にあたりましては、「誰に、ど

のような価値を届けるのか」という視点を常

に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広

く社会に必要とされる運動を創出すべく、

真摯に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、手と心を携えて社会

に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎ

ながら、共に幸せな未来を築いてまいりま

しょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、

# 2026 出向者一覧

JCI

JCI JCI基金委員会 委員 播磨 一夫	
-----------------------------	--

JCI APDC 財政顧問 坂口 晃逸	
---------------------------	--

## 公益社団法人日本青年会議所

顧問 安井 琢磨	愛知ブロック協議会 会長 柳澤 幸佑	サマーコンファレンス 特別委員会 委員長 社本 崇志	国際ビジネス連携委員会 副委員長 片山 義章
国際会議支援委員会 副委員長 大野 祐揮	グローバルアライアンス 構築委員会 副委員長 男城 月菜	JCI関係委員会 副委員長 梁川 雄太	地域開発会議 副議長 八瀬 俊輔
スポーツ人財育成委員会 副委員長 菊池 直弥	財務運営会議 副議長 本田 大三	財政審査会議 副議長 田邊 俊丞	総務委員会 副委員長 小山 洋史
サマーコンファレンス特別委員会 総括幹事 前川 将也	次世代教育システム確立委員会 幹事 橋本 優也	価値デザイン委員会 幹事 岡山 将典	

## 公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会

顧問 中村 正俊	副会長 柳澤 幸佑
-------------	--------------

## 公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会

会長 柳澤 幸佑	監査担当役員 澤田 章弘	運営専務 馬場 廉輔	防災共育推進委員会 委員長 吉水 峰志
事務局 事務局長 清水 悠臣	財政局 財政局長 山本 雅美	LOM支援委員会 副委員長 石神 正雄	ブロックアカデミー委員会 副委員長(塾長) 山田 浩気
グローバル都市愛知創造委員会 副委員長 河合 森	共感デザイン委員会 副委員長 九郎丸 大樹	ブロック大会運営委員会 副委員長 笛木 和義	事務局 総務次長 石濱 豪規
事務局 会務次長 岡 徳久	事務局 涉外次長 竹山 凌馬	財政局 財務次長 荒川 廉成	防災共育推進委員会 総括幹事 小林 建誼
防災共育推進委員会 運営幹事 加藤 歓	防災共育推進委員会 会計幹事 青井 史織	事務局 監査担当役員補佐 村瀬 悠馬	

# 2026 新年のご挨拶



愛知ブロック協議会 2026年度スローガン  
GO Immersive

公益社団法人日本青年会議所  
東海地区 愛知ブロック協議会  
2026年度 会長  
**柳澤 幸佑**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素より  
東海地区協議会の運動への格別の理解とご  
高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2026年度の東海地区協議会は「未来を  
見据えた行動が今を輝かせ未来へのつながりが  
生まれる誰もが幸せと感じる東海」を基本方  
針として掲げ、個人・LOM・ブロック・地区・  
本会のそれぞれの運動をつなぎ架け橋として、  
東海地区協議会が連携の要となり、目的とする  
個人や組織の幸せのつながりを確実に届けま  
す。一人ひとりが主役となつたつながりを通じて  
生まれ出される運動効果の最大化を図り、幸せな  
生き出される運動効果の最大化を図り、幸せな

誕生日新替をお祝い申し上げます。  
公益社団法人名古屋青年会議所の皆様方の  
ご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます  
とともに、平素より公益社団法人日本青年会議  
所 東海地区 愛知ブロック協議会の活動と運動  
に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御  
礼申し上げます。

本年度、愛知ブロック協議会は「Go  
Immersive」没頭するほど楽しめる  
幸せいわの創造」

幸せいわの創造」をスローガンに掲げて活動  
と運動を開催いたします。LOMの抱える課題  
に対する実践的な支援、LOMの未来のリーダーとなるべく資質向上を目的とした教育、世  
界に誇る各地域の魅力の再発掘、大人も子ども  
とともに学べる地域を巻き込んだ実践的な防災  
共育、誰かに語りたくなるような共感を生む運  
動発信を基本方針として、それぞれが住み暮ら  
すまちと青年会議所が抱える課題に向き合い、  
進むべき方向とともに考え、仲間とともに課題  
に取り組んでいく姿を周囲に発信し巻き込んで  
いくことで、没頭するほど楽しめる幸せいわの創造  
をしてまいります。

公益社団法人名古屋青年会議所におかれま  
しては、来年に開催されるJCI世界会議  
にて、皆様の「健勝と社業のさらなる飛  
躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

名古屋大会の開催の機運を高めていく重要な  
年であります。理事長 富永晃司君の卓越した  
リーダーシップのもと、所信に掲げられた様々な  
目標に向かつて邁進され、「愛にあふれる名古屋  
のまち」を実現していくことで来年に迫る  
JCI世界会議名古屋大会につなげていくもの  
のだと確信しております。

結びに、皆様の本年度の活動が成功裏に終わ  
り、青年会議所に入会した目的を達成できるこ  
とを心からお祈り申し上げるとともに、我々愛知ブロック  
協議会もその一助を担えるよう邁進してまいり  
ます。どうぞ本年も層々の支援・ご協力を賜り  
ますようお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせてい  
ただきます。



公益社団法人日本青年会議所  
2026年度 東海地区協議会  
会長

**伊藤 和也**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素よ  
り東海地区協議会の運動への格別の理解とご  
高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2026年度の東海地区協議会は「未来を  
見据えた行動が今を輝かせ未来へのつながりが  
生まれる誰もが幸せと感じる東海」を基本方  
針として掲げ、個人・LOM・ブロック・地区・  
本会のそれぞれの運動をつなぎ架け橋として、  
東海地区協議会が連携の要となり、目的とする  
個人や組織の幸せのつながりを確実に届けま  
す。一人ひとりが主役となつたつながりを通じて  
生まれ出される運動効果の最大化を図り、幸せな  
生き出される運動効果の最大化を図り、幸せな

未来を見据えた行動が今を輝かせ

未来へのつながりが生まれる

誰もが幸せと感じる東海へ

未来の創造を実現してまいりたいと考えております。

東海地区協議会では、個人・LOM・ブロック  
の運動を適切に収集し本会とつなぐ総合連絡調  
整機関として機能を果たすとともに、地区内の  
4ブロック協議会を牽引する存在となります。

東海地区は80LOMと多くのLOMが存在し  
ます。各地で日々、より良い社会の実現に向けた  
LOM単位で発信できる運動には限りがあり、  
より多くの力で運動発信する機会が必要にな  
ります。全国的にみても会員数の減少が目立  
ています。全国的にみても会員数の減少が目立  
ち、未来に希望を描くことが困難だと感じる場  
面も増えています。だからこそ、地域の枠を超  
えて連携と協力が求められており、中長期的な視  
点で地域社会の未来を見据え、行動を起こすこ  
とが今まさに必要です。東海地区協議会では、  
各地が自立的に活性化できる仕組みを導入  
し、個人の能力向上とLOMの持続的な活性化

を支援し、また、災害発生時には、これまで地区  
内で築き上げてきた支援体制を引き継ぎ、各ブ  
ロック協議会と連携しながら迅速かつ的確な復  
興支援を実施してまいります。そして、公益社  
団法人名古屋青年会議所、富永晃司理事長に  
おかれましては、「愛あふれる名古屋のまち」の実  
現を目指して2026年度は力強い運動を發  
信し、素晴らしいスタートができることを、お喜び  
申します。名古屋青年会議所と東海地区協  
議会で、地域が愛あふれるまちになるよう一層  
の連携をし、挑戦し続けて参りましょう。

皆様におかれましては、今後とも東海地区協  
議会の運動に対しまして、引き続きの「理解」  
協力をいたたきますよう宜しくお願ひ申し上げ  
ます。結びに、皆様の「健勝と社業のさらなる飛  
躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

申します。結びに、皆様の「健勝と社業のさらなる飛  
躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

第76年度は5グループにて運動を開催し、  
愛にあふれた名古屋の実現を目指します。

## 総務グループ

適切かつ柔軟な組織運営を行い、  
市民に必要とされる  
大きな運動づくりを支えます。



グループ長 青木 宏樹



## まちづくりグループ

市民の活力と都市の魅力を高め、  
災害に強く持続可能な  
名古屋のまちの創造を目指します。



グループ長 石野田 洸平



## 経済グループ

先進技術と多様な人財の  
活躍による持続可能な地域経済の  
確立に向けた運動を開催します。



グループ長 前畠 大輔



## 国際グループ

国際交流を推進し世界で活躍する  
人財を育み、国際都市名古屋の  
確立を目指します。



グループ長 山口 敬



## 人財育成グループ

組織ブランディングを強化し、  
地域に必要とされる人財を  
育成する運動を開催します。



グループ長 坪井 健一郎

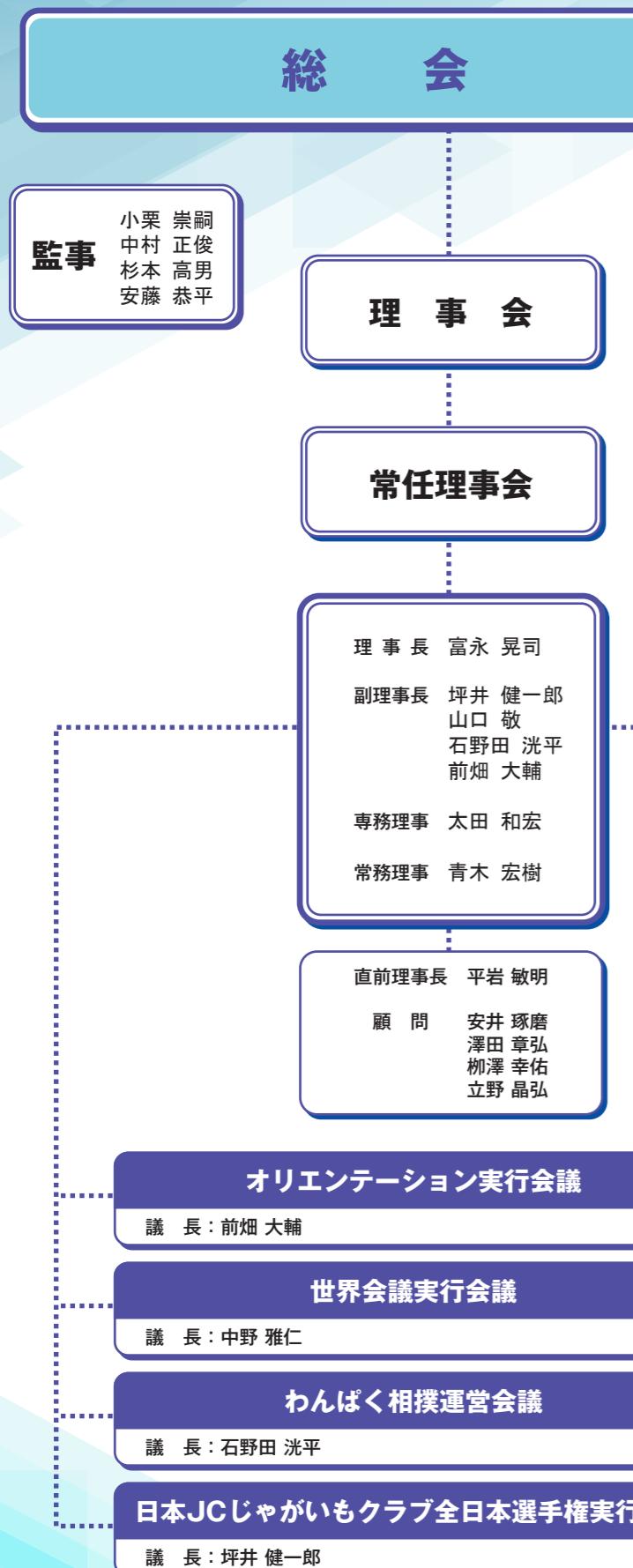


## 専務理事



第76年度 専務理事  
太田 和宏

# 公益社団法人名古屋青年会議所



## ●人財育成グループ

グループ長 坪井 健一郎

## ●国際グループ

グループ長 山口 敬

## ●経済グループ

グループ長 前畠 大輔

## ●まちづくりグループ

グループ長 石野田 洸平

## ●総務グループ

グループ長 青木 宏樹

外部理事 原 尚平

# 2026年度(第76年度)組織図

## 涉外室

播磨 一夫

## 涉外委員会

塙本 燐

## 広報・ブランディング委員会

広里 元治

## 未来の人財育成室

社本 崇志

## 主権者意識向上委員会

山本 直樹

## 人間力向上委員会

西川 裕司

## グローバルネットワーク創造室

高取 秀光

## 国際連携推進委員会

深田 悠暉

## グローバルシティ確立委員会

穠吉 祐

## グローバル人財育成室

濱脇 亮

## 国際人財育成委員会

太田 武明

## 国際スポーツ推進委員会

中村 太紀

## 総活躍社会確立特別委員会

東谷 篤憲

## 新しい経済実現室

都世子 翔太

## 企業の生き抜く力向上委員会

長沼 泰弘

## 稼ぐ企業育成委員会

北川 健一郎

## 持続可能都市創造室

山田 雄大

## 次代に適したまち構築委員会

坂本 拓也

## 災害ネットワーク構築委員会

伊藤 彰洋

## 名古屋の魅力強化室

加藤 将太

## 健幸都市創造委員会

宮脇 正貴

## 新たな魅力都市名古屋創造委員会

川津 友斗

## 総務室

河本 和寛

## 総務委員会

初田 健斗

## 財務委員会

中山 裕徳

世界会議準備担当 中野 雅仁

出向役員 馬場 廉輔

出向役員 坂口 晃逸